

令和3年1月14日(木)、沖縄県公安委員会定例会において、沖縄県警察から次の事項について報告があり、これを受けて審議等を行いました。

今週のトピック

警察から、「ストーカー行為者に対するカウンセリングの実施について」の報告がありました。

1 質疑等

(1) 令和3年2月中行事予定について

警務部から前記事項について報告がありました。

(2) 令和2年度警察官(A、B)、一般職(上級、初級)採用試験の実施結果及び来年度の採用計画について

警務部から前記事項について「応募者は、警察官A、Bともに減少し、警察事務上級、初級については増加した。」旨の報告がありました。

公安委員から来年度の採用計画についての補足説明を求められ、警察から「150名増員による40名の振替採用について」の説明がありました。

公安委員から「民間の採用状況の厳しさから、優秀な人材を採用するチャンスである。募集方法について、情報提供を幅広く行うなどして応募者とのミスマッチが生じないような工夫をしていただきたい。また、女性の応募者についても、丁寧に対応していただきたい。」旨の意見がありました。

本部長から「全国的に警察官の採用倍率の低下傾向が見られるが、沖縄県では公務員志向、地元志向の傾向から高い倍率を維持していたが全国と同様の傾向が見られるようになっていることから今後は、リクルート活動の在り方について検討し、強化していく。」旨の説明がありました。

(3) 年末・年始総合警戒の実施結果について

生活安全部から「令和2年12月1日から令和3年1月3日までの間、年末・年始総合警戒を実施し、期間中の全刑法犯の認知件数・各署の主な取組について」報告がありました。

公安委員から「コロナ禍での犯罪の発生傾向について」の意見がありました。

(4) ストーカー行為者に対するカウンセリングの実施について

生活安全部から「ストーカー行為者に対し、臨床心理士によるカウンセリングを実施した。県警初の試みである。」旨の報告がありました。

公安委員から「この取組は画期的である。カウンセリング1回で劇的に行為者に変化が出ることは期待できないことから、今後はカウンセラーや地域課員、行政が何らかの形で関与する等複合的、長期的な対応も検討していただきたい。今後も臨床心理士との連携を継続的に進めていただきたい。」旨の意見がありました。

- (5) 指定暴力団旭琉會二代目沖島一家組員による準強制性交等事件の検挙について
刑事部から前記事項について報告がありました。
公安委員から「この種の犯罪は悪質であり、徹底して取り締まっていただきたい。」旨の意見がありました。
- (6) 持続化給付金詐欺事件の検挙について
刑事部から前記事項について報告がありました。
公安委員から「関係行政機関に働き掛けを行い、県民に対し、不正な請求については詐欺になることを周知させ、給付が必要な人には、しっかりと申請方法を周知させるように、給付に関係する情報を整理し、警察から情報提供していただきたい。」旨の意見がありました。
- (7) 警察庁長官賞の受賞広報について
刑事部から前記事項について口頭報告がありました。
- (8) 自動車運転死傷処罰法及び道路交通法違反(ひき逃げ)事件の検挙について
交通部から前記事項について報告がありました。
公安委員から「技能指導官による似顔絵作成の技術を継承した後輩が似顔絵を作成しての事件解決で大変喜ばしい。気が動転した被害者から犯人の特徴を聞き取る能力もすばらしい。」旨の意見がありました。
- (9) 令和2年年末年始の交通安全県民運動の実施結果について
交通部から「令和2年12月21日から令和3年1月4日までの間、年末年始交通安全県民運動を実施し、期間中の交通事故発生状況・指導取締り、取組状況について」の報告がありました。
公安委員から「以前は、『飲酒運転は犯罪です』と広報していた。最近は広報が優しい印象がある。」旨の意見を受け、警察から「『飲酒運転は犯罪です』の広報は、あらゆる機会に継続して行っている。見る機会が減らないよう、積極的な広報に取り組んでいただきたい。」旨の説明がありました。
- (10) 令和3年交通安全年間ポスターの作成について
交通部から「今年は、「きいやま商店」がモデルとなり、交通安全標語『交通安全 人も車もソーシャルディスタンス〜ちゅら島2021〜』を組み合わせた年間ポスターを作成した。」旨の報告がありました。
公安委員から「明るく良いポスターが制作されたので、しっかり活用していただきたい。また、テレビCM放映も検討していただきたい。」旨の意見がありました。
- (11) 出入国管理及び難民認定法違反(不法残留)事件の検挙について
警備部から前記事項について報告がありました。
公安委員から「コロナ禍の中、職を失うなどこの種の事案が増えることが予想され、

在留管理も困難になると思われるため事案背景の解明や実態把握にも努めていただきたい。」旨の意見がありました。

2 本部長総括及び挨拶

本部長から「公安委員会は、警察の民主的運営と政治的中立性を保障するために存在する制度であり、民間で取り組まれている社外取締役の先駆けであると認識している。この1年間、警察本部長として公安委員からいただいた御指導・御助言などで組織を運営する上での支えになっていたことに感謝している。引き続き沖縄県警を御指導していただきたい。」旨の総括と異動に際しての挨拶がありました。

3 決裁・報告等(12件)

免許課

- ・ 審査請求の決裁(案)について

警備第一課

- ・ 警備情勢について

通信指令課

- ・ 財産の取得について～IPR形無線機の購入～

佐藤警察本部参事官

- ・ 令和2年中における取扱い事項について

警務課

- ・ 沖縄県警察における部及び課の設置に係る県知事との協議について

広報相談課

- ・ 審査請求への対応について

監察課

- ・ 訟務案件について
- ・ 監察関係報告(2件)

刑事企画課

- ・ 逮捕状を請求することのできる司法警察員の指定について

総務課

- ・ 公安委員会定例会会議録の作成について
- ・ 公安委員会定例会会議録のホームページ掲載について

4 決定・裁定(1件)

運転免許課

- ・ 自動車運転免許の行政処分について